

広島市政白書ニュース

N O. 4

広島市政白書作成委員会
2018年7月28日発行

広島市政白書

総論部・広島市政総括・

自治体戦略2040構想学習会 に向けて

市政白書作成も、若干作業が繰られておりますが、総論部門で、広島市の評価・総括について、中森議員から、素案が発表されました。

また7月に総務省から自治体戦略2040構想が発表され、この先の広域自治体の動きについて、村上理事長から解説を受け、白書の充実に努める学習会が計画されました。

当初対象は事務局員の集まりとしておりますが、この内容に関心のある方、広島市行政の大局的な動きに興味のある方の参加を呼びかけますので、事務局に申し込んでください。

8月12日(日) 9:30から

広島自治体問題研究所

で開きます。

報告者：中森辰一市会議員
村上博修道大学教授

参加希望者は事務局まで

*村上先生のレジュメは広島自治体問題研究所発行「ひろしまの地域とくらし」8月号です。

総論部・広島市政総括

広島市政について (キーワード版)

日本共産党広島市議団

中森辰一

・松井市政の特徴

200万人都市圏構想による大型開発よりも市民生活優先、防災優先のあり方に転換を

大型開発
市民生活と防災

・松井市政2期目の「広島型・福祉ビジョン」

ビジョンの問題点
高齢者の分野
国保事業
介護保険

「『我が事・丸ごと』地域づくり体制の問題点

・市立小中学校への少人数学級の推進と子どもの権利条約に基づいた学校運営を

いじめの問題
管理と競争の教育
35人学級の中2、中3への拡大
定数内の臨時採用教員
生徒指導規定
子どもの貧困問題

・放課後児童クラブは公設公営無料を守れ

環境整備が急がれます。
全面的な有料化導入

・中小企業・小規模事業者への施策を重点に

商工業振興予算は、わずかに約9億円
消費税増税
社会保障制度切り捨て
企業立地促進補助制度

・広島市の重要な観光資源は「平和都市」「被爆都市」世界遺産「原爆ドーム」

水上料亭であるかき船「かなわ」
世界遺産「原爆ドーム」のバッファゾーン内

・出島埋め立て場の積極的な活用が課題

南工場を建て替えた上で中、南、安佐南工場の3工場体制
恵下埋め立て地

出島に建設した広大な産業廃棄物処理場

*事務局作成

総務省・自治体戦略2040構想研究会「第2次報告」

～連携中枢都市圏（圏域）の行政主体化～

広島修道大学教授 村上 博

はじめに

I 「報告書」の概要

- 1 研究会の開催趣旨
- 2 研究会の検討内容
(1) 新たな自治体行政の基本的方向性
(2) 2040年頃を見据えた自治体行政の課題
(3) 新たな自治体行政の基本的考え方
1) スマート自治体への転換

- 2) 公共私によるくらしの維持
- 3) 圏域マネジメントと二層制の柔軟化
- 4) 東京圏のプラットフォーム

II 「報告書」の評価

おわりに *事務局作成

自治体戦略2040構想研究会 第二次報告：総務省ホームページを参照してください。

http://www.soumu.go.jp/main_content/000562106.pdf

第10次広島市政白書2014

いのちとくらし
かがやくヒロシマ



今後のスケジュール

- 8月12日
総論等学習会
8月下旬
原稿締め切り
以降編集作業
10月 発行

11月18日(日)10:00~16:30

ひろしま自治体学校

広島県健康福祉センター

執筆者の皆さんへ

広島市政白書執筆メモ

文字の大きさ 10.5 p

Word

1原稿あたり文字数 約4000文字

提出先

広島市職員労働組合

E-MAIL hsishoku@urban.ne.jp